

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属		北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院				
役職		准教授				
氏名		石黒 侑介	ふりがな	いしぐろ ゆうすけ	生年	1982年
連絡先	住所	〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目北海道大学S研究棟2F				
	電話	011-706-5115	携帯電話		メールアドレス	ishiguro@imc.hokudai.ac.jp(■を@に変えて下さい)
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<p><経歴> 東京都出身 メキシコ・イベロアメリカナ大学国際関係学部留学を経て、横浜国立大学国際社会科学研究所国際関係法専攻開発協力コース修了(修士・国際経済法学) ◆2008年 財団法人日本交通公社(現・公益財団法人日本交通公社)入社(主にグリーン・ツーリズムやスポーツ合宿誘致を通じた地域振興、インバウンド・ツーリズム推進に関する中央官庁、地方自治体の調査事業・研究、観光分野の国際協力案件に従事) ◆2014年 北海道大学観光学高等研究センター 特任准教授 ◆2016年 北海道大学観光学高等研究センター 准教授 ◆2017年 スペイン・バルセロナ大学ホテル観光学院連携客員教授を兼務 ◆2020年 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 准教授</p>					
	<p><主な取組内容> ◆主な公職 国土審議会北海道開発分科会計画部会委員 観光庁登録DMO一般財団法人丘のまちびえい活性化協会アドバイザー 観光庁登録DMO一般社団法人八重山ビジターズビューロー有識者委員会委員 札幌市次期札幌MICE総合戦略策定に係る懇話会 座長 函館市グリーン・ツーリズム推進会議 座長 斜里町知床アクティビティリスク管理体制検討協議会 座長 ニセコ町観光審議会 委員</p>					
取組分野	最も専門性の高い分野	観光政策、観光協会・DMOの運営・設立				
	その他活動実績のある分野	観光関連組織の事業計画、観光振興計画の策定、マーケティング戦略の策定				
	その他活動実績のある分野	インバウンド観光推進のための各種調査				
	その他活動実績のある分野					
	その他活動実績のある分野					

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
北海道大学大学院国際広報メディア・観光学	https://www.imc.hokudai.ac.jp
石黒侑介オフィシャルweb	https://www.ishiguroyusuke.com
4. ふるさと財団での実績	
外 活 部 用 専 助 門 成 家	◆2010年度～11年度 新潟県胎内市「米粉を軸とした地域食材の活用による商品開発事業」
外 部 短 期 専 門 診 家 断 派 遣	
地 域 再 生 セ ミ ナ ー	
そ の ほ か	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf
平成22年度 地域共創ビジネス支援事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1321407101251.pdf
6. 写真・ひとことPR	
	<p>< ひとことPR ></p> <p>観光政策や観光組織をテーマに、行政組織や観光協会、DMOの皆様との共同研究、実践研究を積極的に行っています。特に観光地経営論(デスティネーション・マネジメント)における政策立案や財源・組織の構築などが専門で、現在は道内の自治体に加え、沖縄県の八重山諸島(石垣市、竹富町、与那国町)のDMO、スペイン・バルセロナ市政府、エクアドル・キト市のDMOなど、国内外の多くの行政組織、DMOとの連携研究を通じて、効果的なデスティネーション・マネジメントのあり方についての研究を進めています。観光学の学術的な理論が地域のみなさんに直接的に役に立つことは少ないかもしれませんが、一方で「たかが理論、されど理論」です。理論を踏まえて他の地域やご自身の地域を分析すると、課題の構造やその解決策を見いだすヒントは見えてくるかもしれません。まずは「地域の課題は何なのか」について議論するところから始めましょう。</p>